

(7) 昭和42年度心身障害判別講習会

- ① 期日 昭和42年11月14日～29日
② 会場 二本松市立二本松中学校
須賀川市立須賀川第二小学校
会津若松市立第二中学校
原町市立原町第一小学校

③ 内容

特殊教育推進上の諸問題について

- ・特教教育の現状
- ・心身障害児の判別の組織と方法
- ・心身障害児の就学指導
- ・本県における特殊教育振興上の諸問題
- ・指導法についての問題

以上の項目を中心に県教育庁学務課、指導課の係、ならびに医療法人安積保養園理事長佐久間有寿先生の熱心な講義を中心に、その成果をおさめた。

(8) 中学校特殊学級職業指導設備購入費補助

中学校の特殊学級における学習指導による精神薄弱児の社会適応をはかるための職業教育を推進するに必要な設備の充実をはかることを目的として、陶芸窯1台2万円、印刷機(手フート型)1台3万円を購入費の半県費補助で10校に配布した。

第10節 特別教育活動・学校行事等

1 特別教育活動

特別教育活動については、改善充実をはかる余地がじゅうぶんあるので、本年度頭初に各教科指導の重点(「学校教育42」1967-4)に特別教育活動指導の重点をとりあげ、学級会(学級、ホームルーム)活動、児童会(生徒会)活動、クラブ活動の指導の重点を明らかにし、鋭意その実現に努めた。本年度において、特別教育活動の改善充実を図るための主な行事は下記のとおりである。

(1) 小学校教育研究協議会特別教育活動部会

① 研究問題

ア. 「児童についての理解を深めるため、児童の性格、行動などをじゅうぶんに握するためには、どのようなふうをしたらよいか」

イ. 「学級において望ましい人間関係を高め、指導の効果を高めるためには、学級経営をどのように進めたらよいか」

② 主催

文部省、県教育委員会、県小学校教育研究会

③ 期日

地区 昭和42年7月25日・26日

県 昭和42年10月4日・5日

④ 会場

地区 各教育事務所ごとに設定する。

県 耶麻郡山都町立山都第一小学校

(2) 中学校教育研究協議会特別教育活動部会

① 研究問題

「学級活動を活発にし、その効果をあげるためには、

どのようにすればよいか」

② 主催

文部省、県教育委員会、県中学校教育研究会

③ 期日

地区 昭和42年7月26日・27日

県 昭和42年9月27日・28日

④ 会場

地区 各教育事務所ごとに設定する。

県 福島市公会堂、福島市立福島第三中学校

(3) 高等学校教育課程研究集会特別教育活動部会

① 研究問題

ア. クラブ活動を発活にし、その効果をあげるには、どのようにすればよいか。

イ. ホームルームにおける進路指導は、どのように進めるべきか。

ウ. 学校行事等の計画や実施にあたって、集団行動における生徒の規律ある態度を育てるためには、どのようにすればよいか。

エ. 学校行事等と地域社会との調整を、いかに図るべきか。

② 主催

文部省、県教育委員会

③ 期日

地区 昭和42年8月8・9・10・11・22・23・24・25日 8日間

県 昭和42年9月26日 1日間

④ 会場

地区 県内4地区

県 県立安積女子高等学校 1日間

(4) 小学校教育課程研究発表大会への参加

11月20日～22日、東京で開催された研究発表大会に本県からは、教諭・岡部誠治(棚倉小)、教諭・長谷川章(関柴小)、指導主事・渡辺一三郎(田村教育事務所)が参加した。

(5) 中学校教育課程研究発表大会への参加

11月16日～18日、東京で開催された研究発表大会に本県からは、教諭・穂積友大(白河中央中)、教諭・安藤寿子(小野中)、指導主事・岡清明(双葉教育事務所)が参加した。

(6) 高等学校教育課程研究発表大会への参加

11月13日～15日、東京で開催された研究発表大会に本県からは、坂下高校教諭・菊地宏、本庁指導課指導主事・藤井勇が参加した。

2 学校行事等

学校行事等の運営については、まず、諸種の行事を学校行事等の目標に照らして精選し、全人教育の立場から他領域との関連を考えた指導計画をたてるよう指導してきた。

各学校においては、地域や学校の実情に応じて、教育的効果をじゅうぶんあげることのできる内容のものを実施している。指導にあたっては、教師の共通理解と協力を得、児童・生徒の積極的な参加によって自主性を高め、集団の中での個人指導、指導結果の評価などに重点をおいて努力している。